

## 認知症初期集中支援チーム 実績報告 (平成30年度上半期)

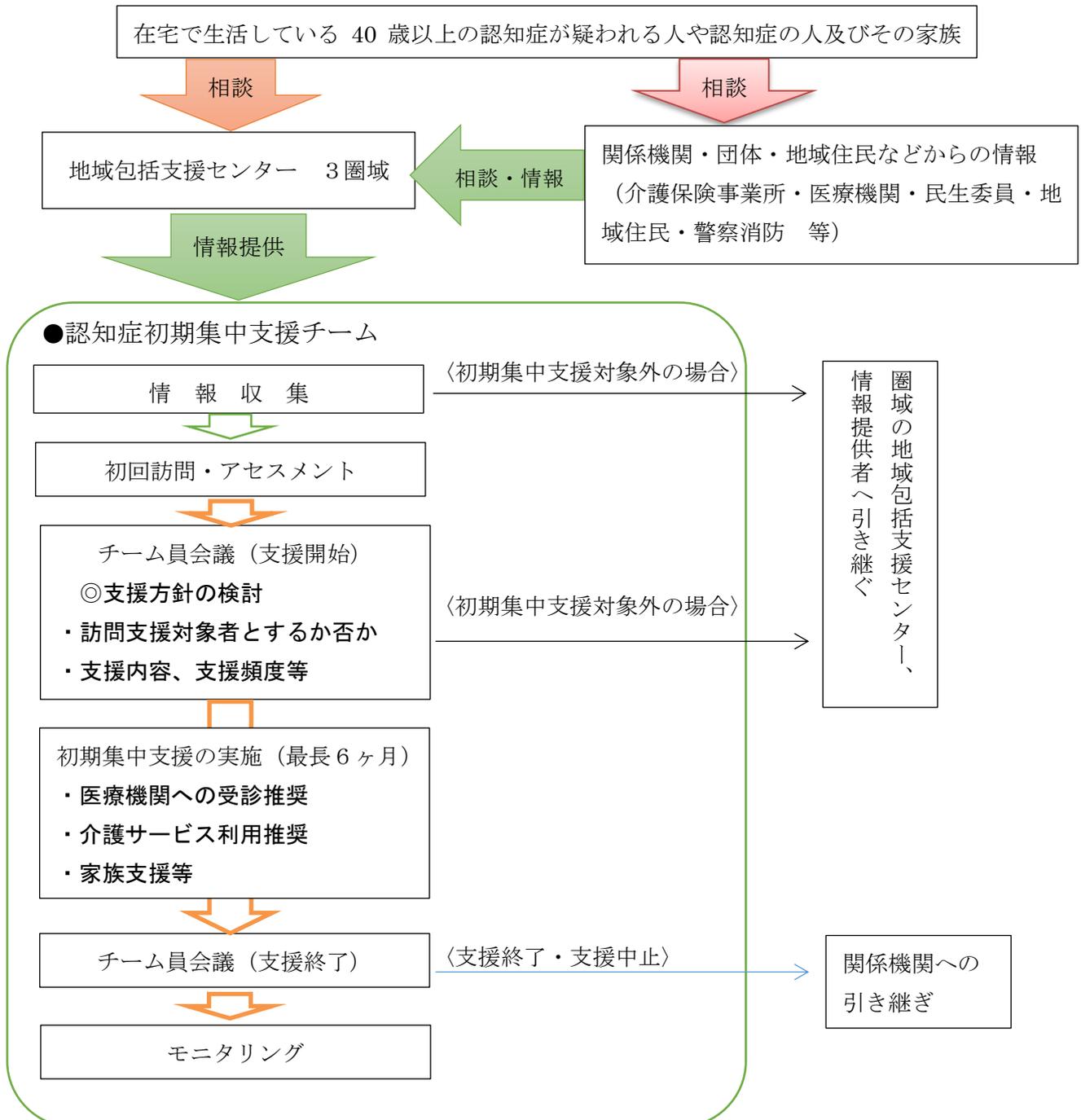
### 1. 概要

#### (1) 初期集中支援チームの対象者

支援対象者は、市内に在住し、かつ、在宅で生活をしている40歳以上の認知症が疑われる者又は認知症の者であって、次のいずれかに該当する者とする。

- (1) 医療サービス若しくは介護サービスを受けていない者又は中断している者で、次のいずれかに該当する者とする。
- (2) 医療サービス又は介護サービスを受けているが、認知症の行動又は心理症状が顕著なため、対応に苦慮している者

#### (2) 初期集中支援の流れ



## 2. 実施体制

専門医	1人（サポート医）
専門職	2人（保健師1、社会福祉士1） ※白井市地域包括支援センター職員が兼務
協働支援	白井駅前地域包括支援センター 1名 西白井駅前地域包括支援センター 2名 ※チーム員会議に参加
チーム員会議開催回数	当初想定 月1回

## 3. 実施状況

### （1）基本情報

対象期間	平成30年4月1日～9月6日
支援対象者数	4人
うち支援終了者数	2人（うち1名死亡）

### （2）支援対象者

性別	男性：1人 女性：3人
年齢	40～64歳 0人      65～69歳 0人 70～74歳 1人      80～84歳 1人 85～89歳 2人      90歳～ 0人
世帯状況	独居 1人      夫婦のみ 1人 その他 2人
介護認定の有無	認定有り 1人（うち要介護1（1人）） 認定無し 3人（うち事業対象者（1人））
認知症診断の有無	診断有り 0人      診断無し 4人
相談内容	医療 1人 医療介護 3人 行動心理症状 0人

### （3）チーム活動状況

対象者把握から初回訪問までの日数	1週間以内：2人      2週間以内：1人 1か月以内：1人（15日）
初期集中支援の訪問回数	訪問回数10回（含む）受診同行：0回 ※1人当たり 回訪問 対応回数 39回
チーム員会議開催回数	計5回
初期訪問時の見立て （困難事例に該当の有無）	困難0件、非該当4件
支援終了に至るまでの期間	15日・26日 平均20.5日
初期集中支援終了後の引き継ぎ先	地域包括支援センター

#### 4. 検討事項

##### (1) 相談受理件数について

月平均で1件以下の相談受理件数という状況。対象者チェック項目にチェックが入り、相談者の同意が得られた場合はチームにあげてもらおう仕組みにはなっているが、どのようなケースを上げたらよいのかという判断が各包括支援センターによって差がある状況。

《対応案》

- ① チーム員会議での検討を重ねる中で、どのようなケースを取り扱っていくのかを確立していく。
- ② 認知症初期集中支援チームについて市民への周知は少ない状況であり、積極的な周知も行えていない。包括への相談者である、市民・民生委員などに対し、改めて周知などを行う。

##### (2) 関係機関との連携について

かかりつけ医のある対象者については、かかりつけ医との面接及び情報共有を実施できた。また、身体面での機能低下が見られている対象者については、理学療法士（市職員）の協力を得て、機能面の評価を実施し、支援に生かすことができた。

《対応案》

- ① チームサポート医からも多くの医師にチームの活動を知ってもらうためにも、積極的に協力を仰ぎ、連携を図っていくことが必要との意見もいただいております、引き続き、ケース支援を通して連携が図れるようアプローチをしていく。

#### 【参考】月別活動実績（H.30.9.6時点）

	相談件数	初回訪問 件数	新規受理 件数	稼働件数 月末時点	延べ対応数	支援終了
4月	2	1	0	2	6	
5月	0	1	1	1	9	
6月	1	1	1	2	11	
7月	0	0	0	1	9	1（死亡）
8月	1	0	0	1	3	
9月	0	1	1	2	1	